

漁村の下水道整備に関わる動き

“漁村環境整備促進の運動展開”

現状の漁村における生活雑廃水処理、トイレの水洗化、交通アクセス等の整備は、都市部と比較して著しく遅れており、その格差が甚だしいものがあります。生命の源であり、本来豊かなはずである海が今では廃棄物や有害物質等、更には森林の減少や荒廃などの自然破壊等により危機にさらされています。

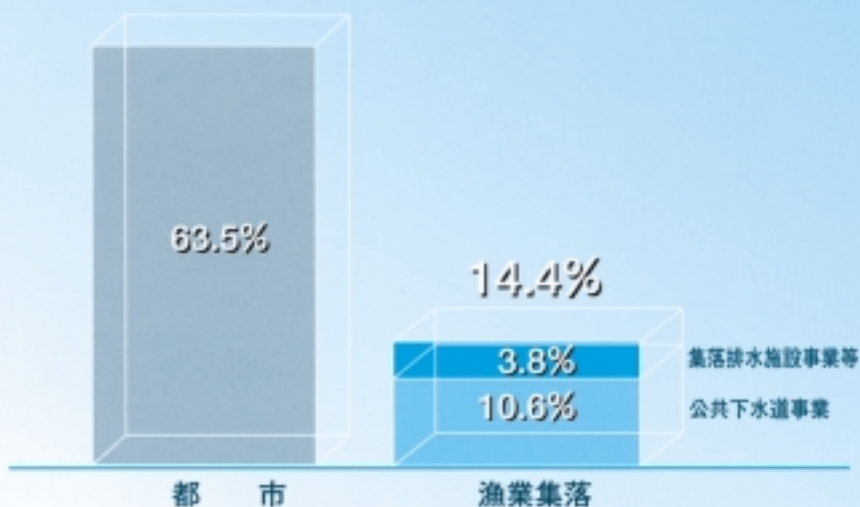
今、我々の漁村において一番渴望されている問題は生活雑廃水等により、水産資源に深刻な影響を及ぼしていることです。このことは、全国的にも大きな問題となっています。二十一世紀へ向けて、更なる水産業の発展と水産資源の永続的な持続的利用を推進するためには、下水道等の普及率向上は極めて重要かつ緊急の課題であります。

昨年、本県においてもこれらの漁村環境整備促進については行政に対して要請活動を展開致しておりますが、まだまだ普及率は低いものとなっております。

漁村の下水道等の普及率向上を!!

(漁村集落排水施設の整備促進)

◇都市と比べて大幅に遅れている整備状況



◇漁場環境保全と快適な定住環境のために

- 漁場保全・資源の持続的利用のために
生活雑廃水がそのまま海に流れることにより、沿岸域での、産卵や稚魚の育成を阻害するなど、水産資源に深刻な影響を及ぼしています。水産資源の生育の場である沿岸域の環境を守っていくために生活排水施設の充実は欠かせません。
- 住み良い定住環境の構築のために
現在、漁村と都市部では、下水道等の普及率に大きな差があります。若者をはじめとする漁村生活者が都市部の快適な生活を送るため、また国民の憩いの場である美しい漁村づくりのため、トイレの水洗化を含む漁村の生活環境の充実に回ることが今こそ必要です。

す。今後も、これらの運動は強力に展開していく必要がありますので、会員の皆様

においては引き続きご協力いただきますようお願い致します。